

2019年3月19日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2019年2月実績、3月見通し)

[概況] 小企業の売上DIは、マイナス幅が縮小
～3月もマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2019年2月の売上DIは、1月(▲5.0)からマイナス幅が2.3ポイント縮小し、▲2.7となった。3月は、▲1.9とさらにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲17.8→▲16.4)、非製造業(▲3.4→▲1.9)ともにマイナス幅が縮小した。3月は、製造業では▲11.6とさらにマイナス幅が縮小する一方、非製造業では▲2.7とマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

2 採算

2019年2月の採算DIは、1月(3.4)からほぼ横ばいの3.7となった。3月は、11.5と上昇する見通しとなっている。

3 雇用

2019年3月調査の従業員過不足DIは、21.1となった。従業員の給与水準が1年前と比べて「上昇」と回答した企業割合は、29.0%となった。

4 東京オリンピック・パラリンピックの影響

2019年3月調査において、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックによる業況へのプラスの影響があると回答した企業割合は、4.0%となった。マイナスの影響があると回答した企業割合は、5.3%となった。

<調査の要領> 調査時点 2019年3月1日～8日
調査対象 当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)
有効回答企業数 1,357企業
回答率 90.5%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:長沼、中谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（同 10 人未満）

小 売 業（同 10 人未満）

飲 食 店（同 10 人未満）

サービス業（同 20 人未満）

建 設 業（同 20 人未満）

運 輸 業（同 20 人未満）

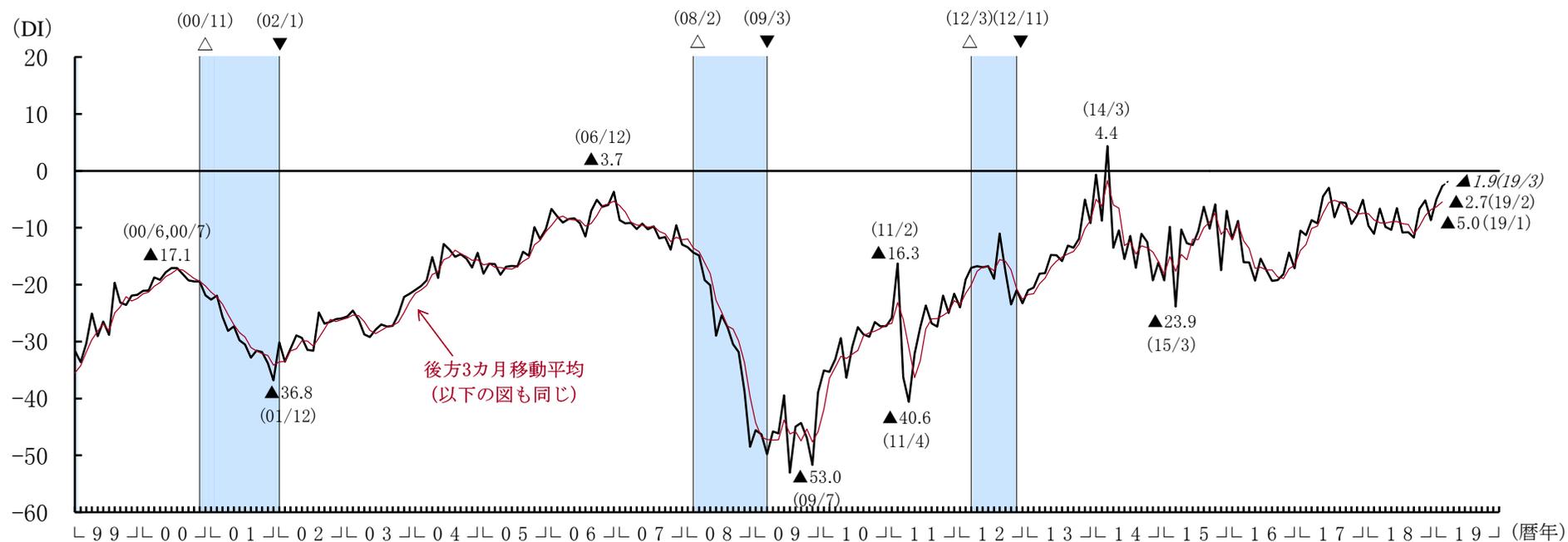
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、
データにウェイトづけを行っている。

1 売上

- 2月の売上DIは、1月からマイナス幅が2.3ポイント縮小し、▲2.7となった。3月は、▲1.9とさらにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲17.8→▲16.4)、非製造業(▲3.4→▲1.9)ともにマイナス幅が縮小した。3月は、製造業では▲11.6とさらにマイナス幅が縮小する一方、非製造業では▲2.7とマイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 非製造業では、卸売業とサービス業を除く全ての業種で上昇している。3月は、卸売業、小売業、サービス業で上昇する見通しとなっている。

図－1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

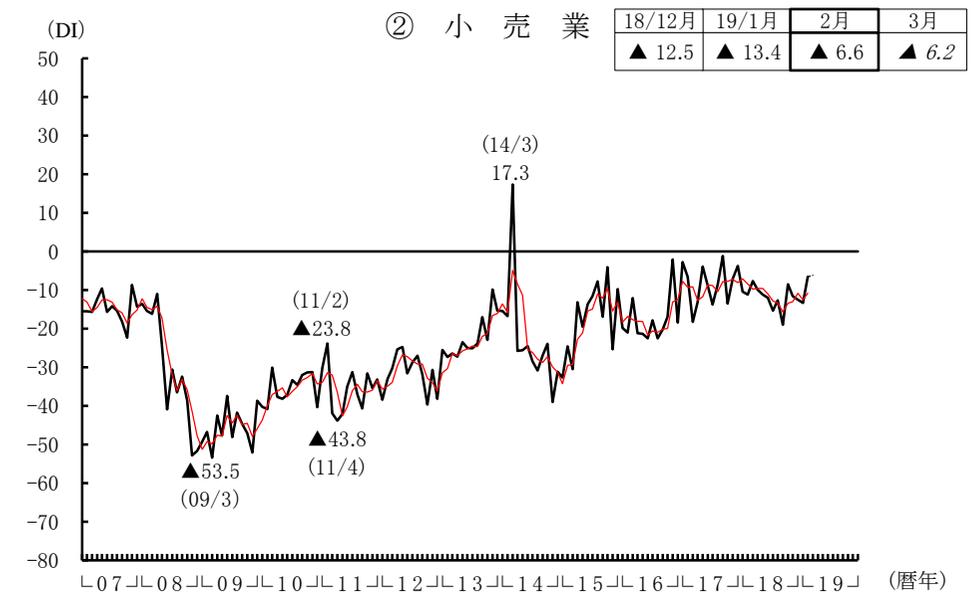
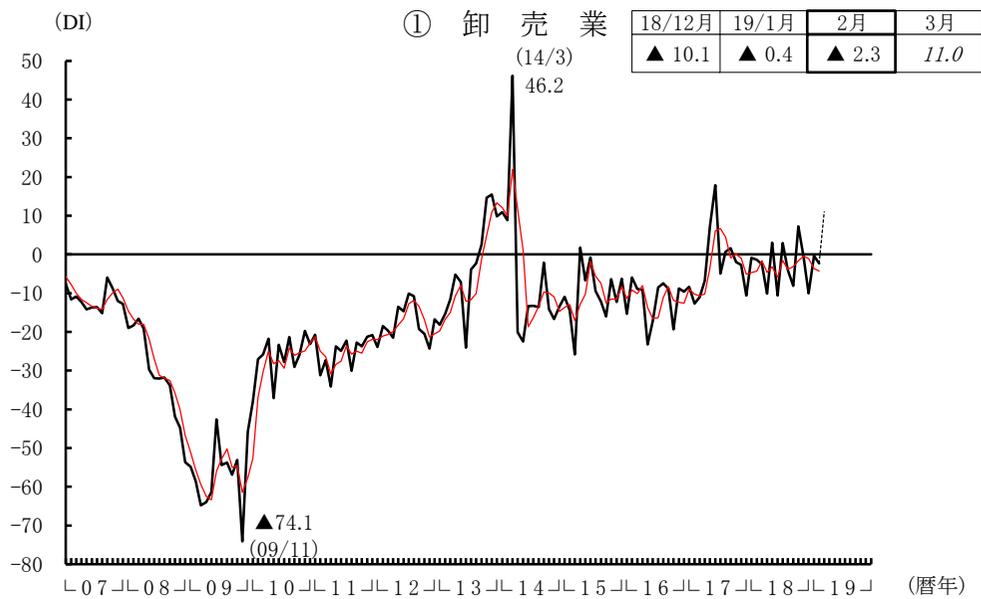
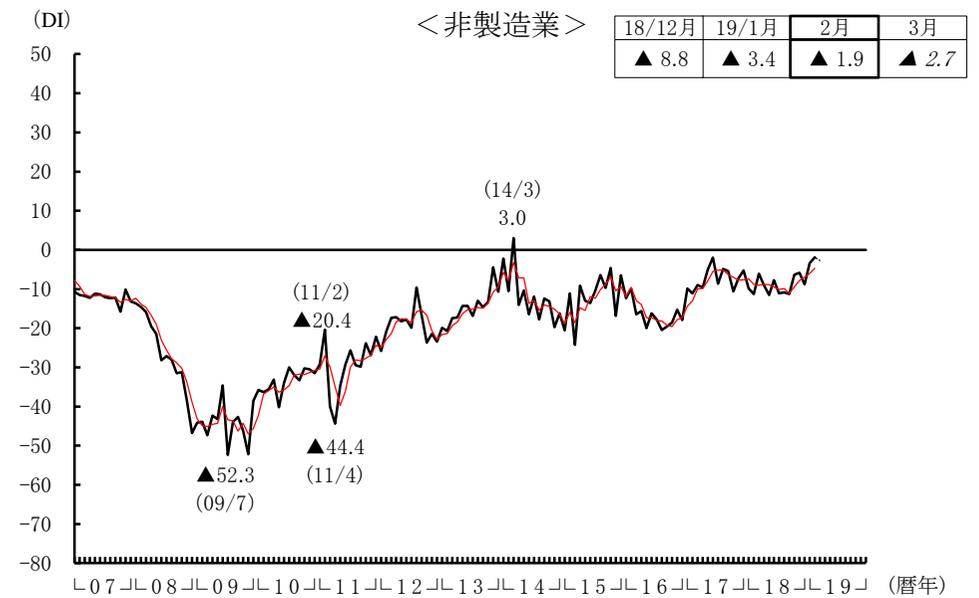
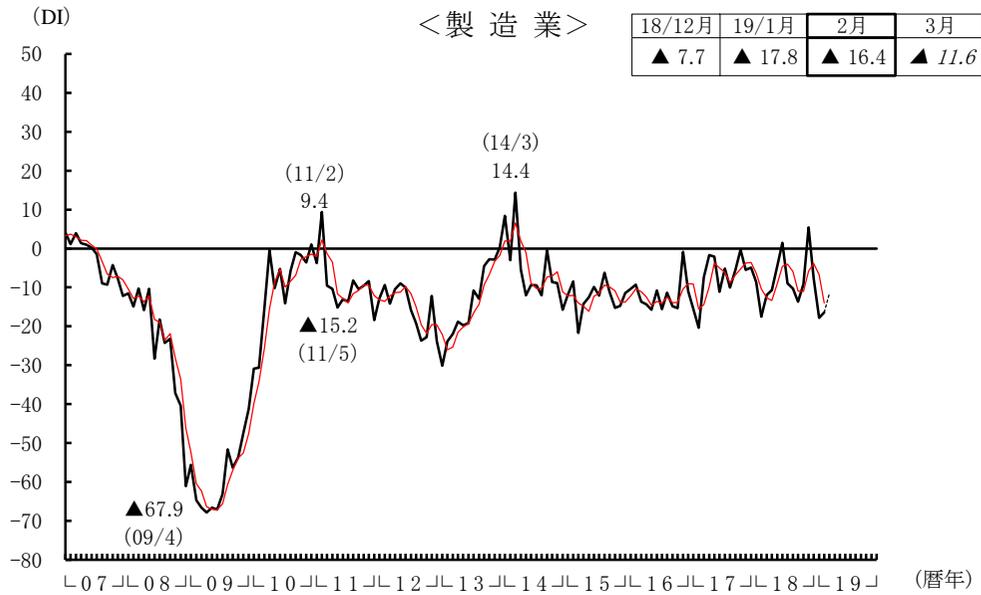
	2018/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019/1月	2月	3月
実績	▲11.1	▲6.7	▲9.8	▲10.4	▲6.6	▲10.8	▲10.8	▲11.7	▲6.7	▲5.2	▲8.7	▲5.0	▲2.7	-
見通し	▲0.6	▲2.5	▲2.8	▲2.0	▲3.2	1.2	▲3.0	▲8.9	▲9.1	▲0.8	▲0.5	▲4.5	▲1.5	▲1.9



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



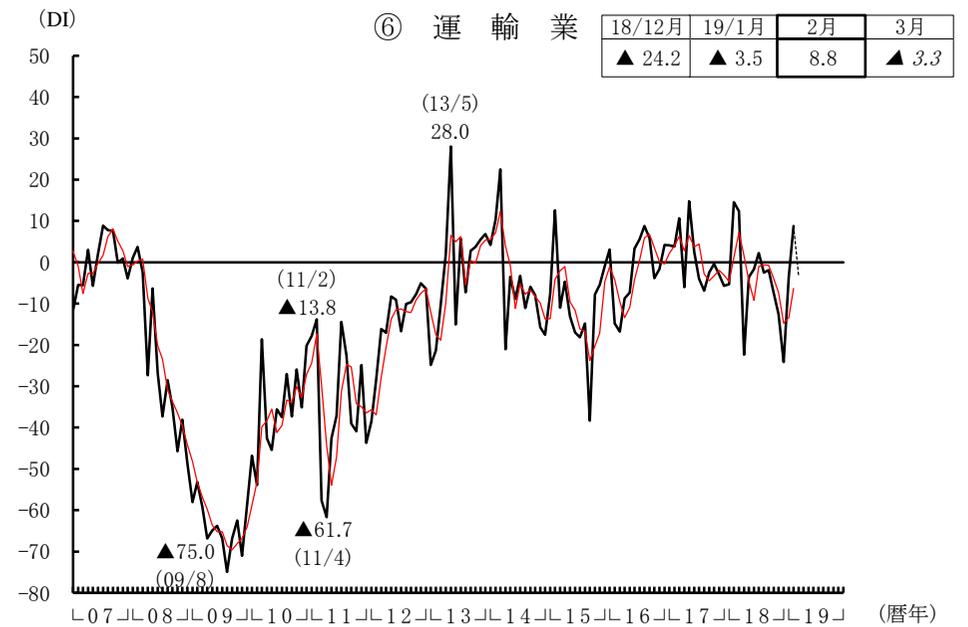
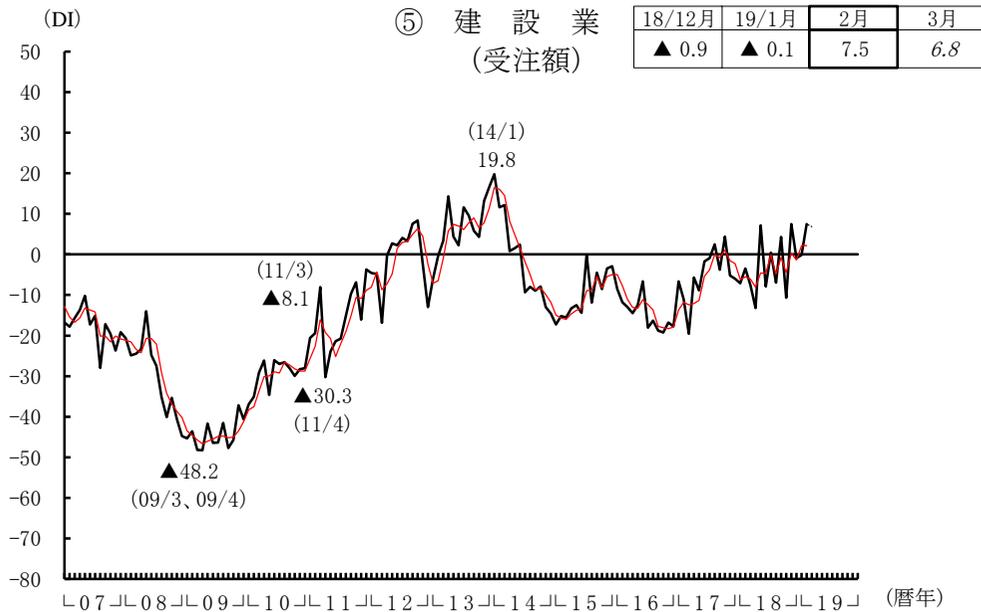
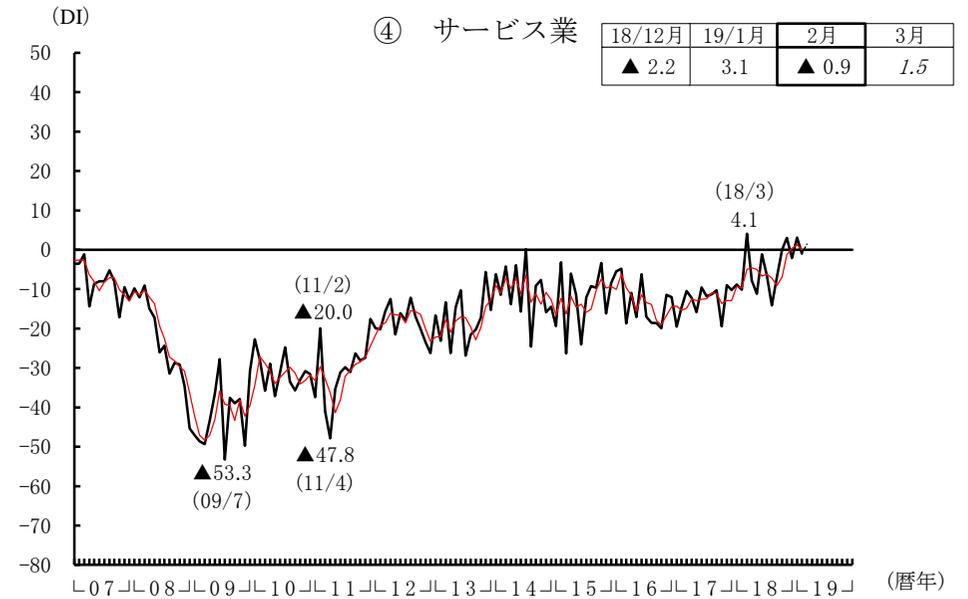
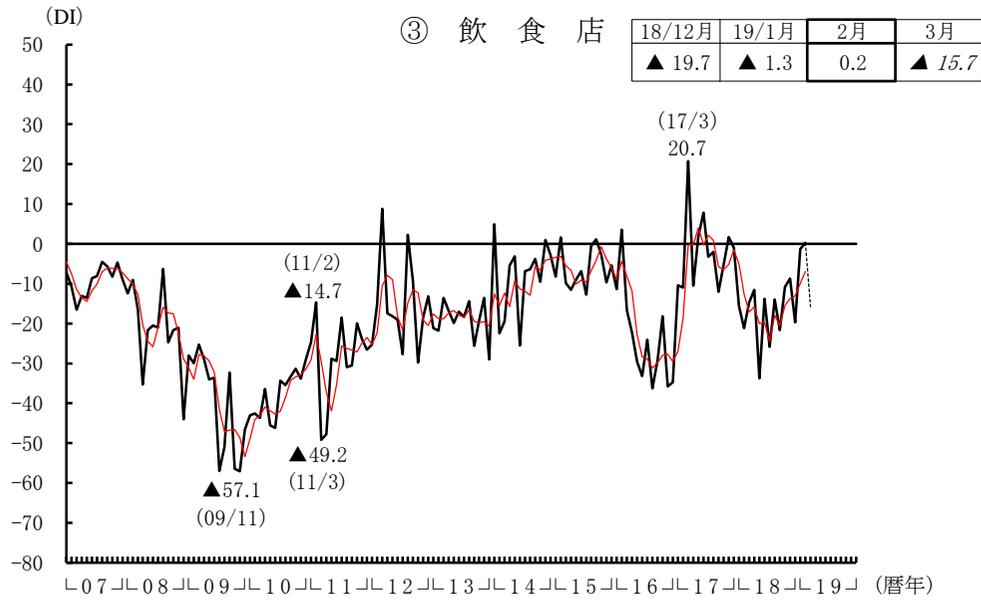


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

(見通し)

	2017年 9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月	
製造業	▲5.5	▲0.3	▲5.5	▲4.9	▲8.6	▲17.5	▲12.0	▲10.7	▲4.5	1.4	▲9.0	▲10.3	▲13.7	▲9.1	5.4	▲7.7	▲17.8	▲16.4	▲11.6	製造業
金属・機械	2.4	6.5	▲2.1	3.1	▲2.0	▲5.4	▲4.2	▲2.7	12.7	23.5	7.2	▲14.0	▲11.9	▲2.5	11.1	▲4.2	▲20.3	▲8.8	▲3.1	金属・機械
その他製造	▲14.5	▲6.0	▲10.9	▲9.4	▲15.1	▲25.2	▲16.7	▲17.9	▲19.3	▲17.4	▲23.1	▲8.8	▲17.4	▲14.9	▲2.0	▲8.3	▲16.5	▲20.4	▲11.9	その他製造
非製造業	▲5.5	▲10.6	▲7.2	▲5.2	▲9.9	▲11.2	▲6.1	▲9.1	▲11.5	▲7.7	▲11.1	▲10.8	▲11.3	▲6.3	▲5.8	▲8.8	▲3.4	▲1.9	▲2.7	非製造業
①卸売業	1.6	▲2.0	▲2.7	▲10.6	▲0.9	▲1.4	▲2.5	▲10.1	3.0	▲10.6	2.9	▲4.0	▲8.1	7.3	▲0.5	▲10.1	▲0.4	▲2.3	11.0	①卸売業
織・衣・食	▲7.3	▲7.6	▲12.3	▲6.5	6.4	▲0.3	1.3	▲17.0	▲6.0	▲40.1	▲20.2	▲15.3	▲19.9	▲9.8	▲14.3	▲16.9	▲13.9	▲14.5	▲3.3	織・衣・食
機械・建材	11.4	2.2	2.7	▲11.5	▲5.5	▲1.4	▲2.5	▲12.6	14.4	4.1	20.1	3.9	3.6	19.6	8.2	▲3.1	9.8	7.4	18.9	機械・建材
②小売業	▲1.2	▲13.6	▲7.1	▲3.7	▲10.4	▲11.2	▲7.7	▲9.9	▲11.2	▲12.0	▲15.4	▲12.7	▲19.0	▲8.5	▲11.6	▲12.5	▲13.4	▲6.6	▲6.2	②小売業
耐久消費財	7.9	▲15.7	▲7.1	▲0.8	▲5.5	▲10.1	▲15.7	▲5.0	▲1.0	2.0	▲4.4	▲2.6	▲4.5	0.7	1.9	6.0	▲19.4	3.7	▲6.1	耐久消費財
非耐久消費財	▲2.3	▲13.3	▲5.3	▲5.4	▲9.4	▲11.5	▲9.0	▲10.1	▲13.6	▲14.9	▲17.8	▲14.9	▲21.2	▲10.6	▲12.3	▲17.2	▲9.9	▲8.9	▲5.6	非耐久消費財
③飲食店	▲12.1	▲5.2	1.7	▲1.0	▲15.6	▲21.1	▲14.7	▲11.6	▲33.8	▲13.8	▲25.9	▲14.0	▲21.6	▲10.8	▲8.7	▲19.7	▲1.3	0.2	▲15.7	③飲食店
④サービス業	▲10.3	▲19.4	▲8.9	▲10.2	▲8.8	▲10.1	4.1	▲7.8	▲11.2	▲1.1	▲6.4	▲14.1	▲6.9	0.0	3.0	▲2.2	3.1	▲0.9	1.5	④サービス業
事業所向け	▲14.3	▲9.3	▲2.5	3.1	4.8	▲0.8	▲3.7	6.5	▲2.4	▲7.1	5.8	▲7.3	2.9	9.3	8.3	5.6	4.3	11.7	▲2.4	事業所向け
個人向け	▲9.4	▲22.7	▲10.5	▲15.0	▲13.8	▲11.5	5.6	▲13.2	▲14.2	1.7	▲8.9	▲16.1	▲10.2	▲3.1	2.0	▲5.3	2.0	▲3.4	2.8	個人向け
⑤建設業	▲3.8	4.4	▲5.2	▲6.0	▲7.1	▲3.5	▲7.6	▲13.2	7.2	▲7.9	0.4	▲7.0	4.3	▲10.7	7.5	▲0.9	▲0.1	7.5	6.8	⑤建設業
⑥運輸業	▲2.4	▲0.4	▲3.0	▲5.7	▲5.3	14.6	12.4	▲22.4	▲3.6	▲1.6	2.3	▲2.5	▲1.9	▲7.5	▲12.6	▲24.2	▲3.5	8.8	▲3.3	⑥運輸業
道路貨物	▲1.2	▲1.3	▲2.8	▲5.7	▲0.4	17.9	16.4	▲18.8	1.8	5.9	7.1	▲6.3	▲3.6	▲5.9	▲11.2	▲22.4	1.3	11.8	3.0	道路貨物
個人タクシー	▲1.0	▲4.1	▲7.7	▲3.7	▲36.3	▲5.9	▲5.6	▲27.8	▲25.7	▲28.9	▲15.4	7.8	13.6	▲21.9	▲20.8	▲30.6	▲31.9	▲8.2	▲28.6	個人タクシー
全業種計	▲5.6	▲9.3	▲7.8	▲5.1	▲9.7	▲11.1	▲6.7	▲9.8	▲10.4	▲6.6	▲10.8	▲10.8	▲11.7	▲6.7	▲5.2	▲8.7	▲5.0	▲2.7	▲1.9	全業種計

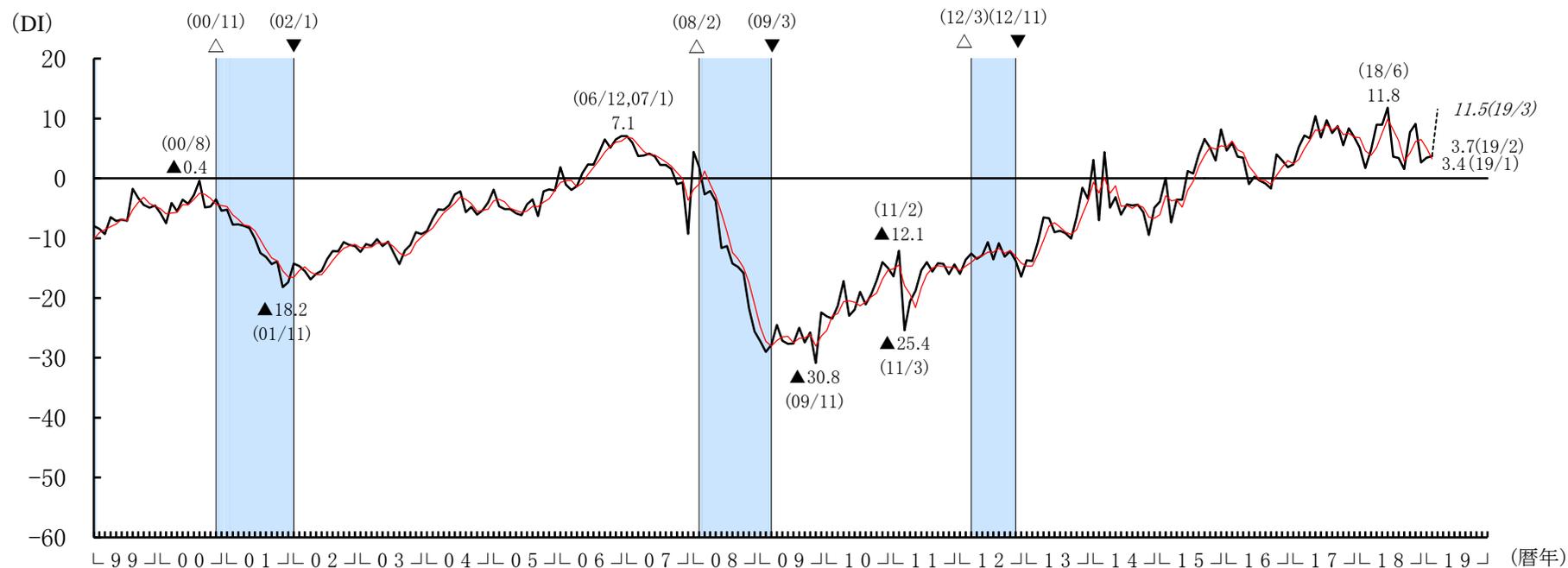
(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 2月の採算DIは、1月からほぼ横ばいの3.7となった。
- 3月の採算DIは、11.5と上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2018/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019/1月	2月	3月
実績	1.7	4.8	9.0	9.0	11.8	3.6	3.4	1.5	7.7	9.1	2.7	3.4	3.7	-
見通し	11.8	9.5	12.6	13.4	13.6	14.7	11.9	11.0	6.8	13.9	11.1	9.7	8.6	11.5

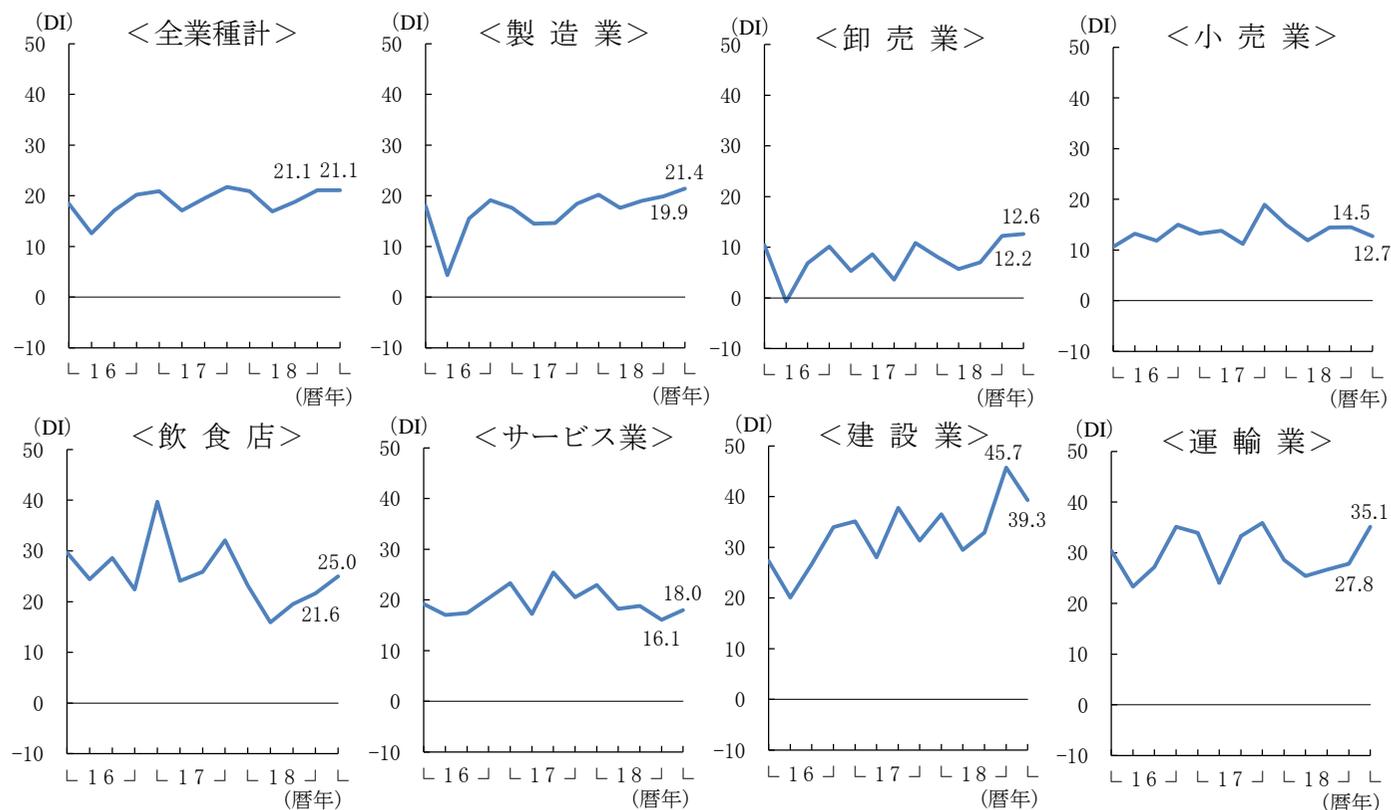


(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 雇 用

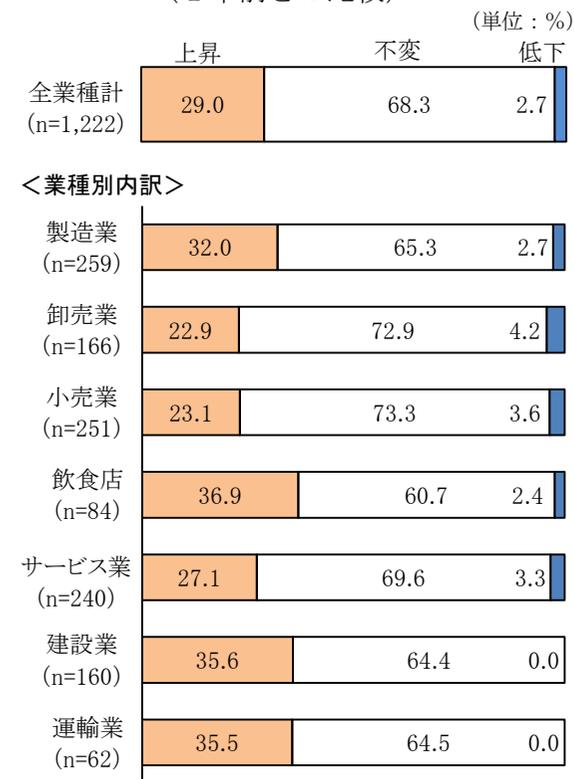
- 従業員過不足DIは、21.1となった。業種別にみると、建設業が39.3と最も高く、次いで運輸業(35.1)、飲食店(25.0)の順となっている。
- 従業員の給与水準が1年前と比べて「上昇」と回答した企業割合は、29.0%となった。業種別にみると、飲食店が36.9%と最も高く、次いで建設業(35.6%)、運輸業(35.5%)の順となっている。

図－4 従業員過不足DIの推移



(注) 1 このところ(3カ月程度)の仕事量からみた従業員数の過不足を尋ねたもの。
 2 従業員過不足DIは、「不足」企業割合－「過剰」企業割合。

図－5 給与水準の動向
(1年前との比較)

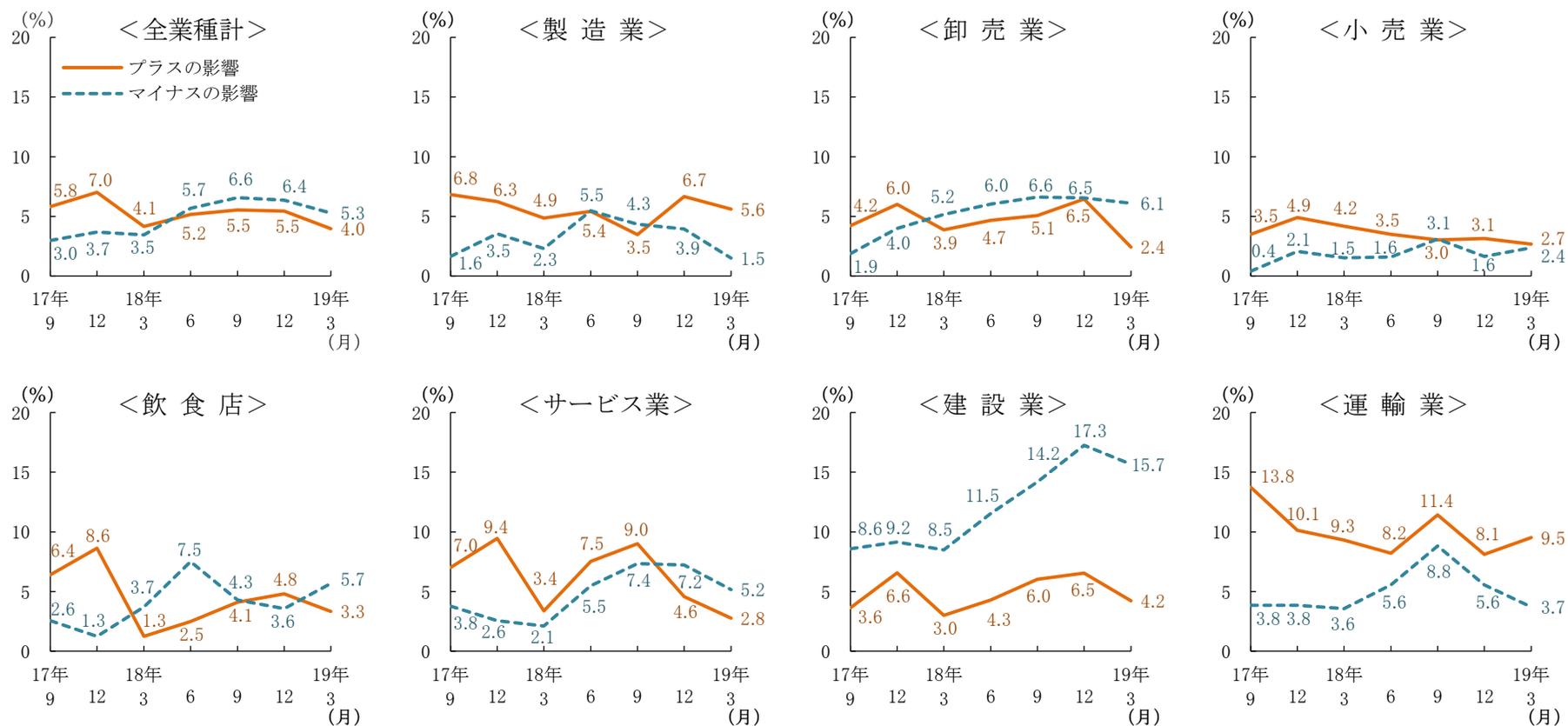


(注) 定期昇給、昇格・降格による上昇・低下を除いての回答。

4 東京オリンピック・パラリンピックの影響

- 2019年3月調査において、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックによる業況へのプラスの影響があると回答した企業割合は4.0%となった。業種別にみると、運輸業が9.5%と最も高く、次いで製造業(5.6%)、建設業(4.2%)の順となっている。
- マイナスの影響があると回答した企業割合は5.3%となった。業種別にみると、建設業が15.7%と最も高く、次いで卸売業(6.1%)、飲食店(5.7%)の順となっている。

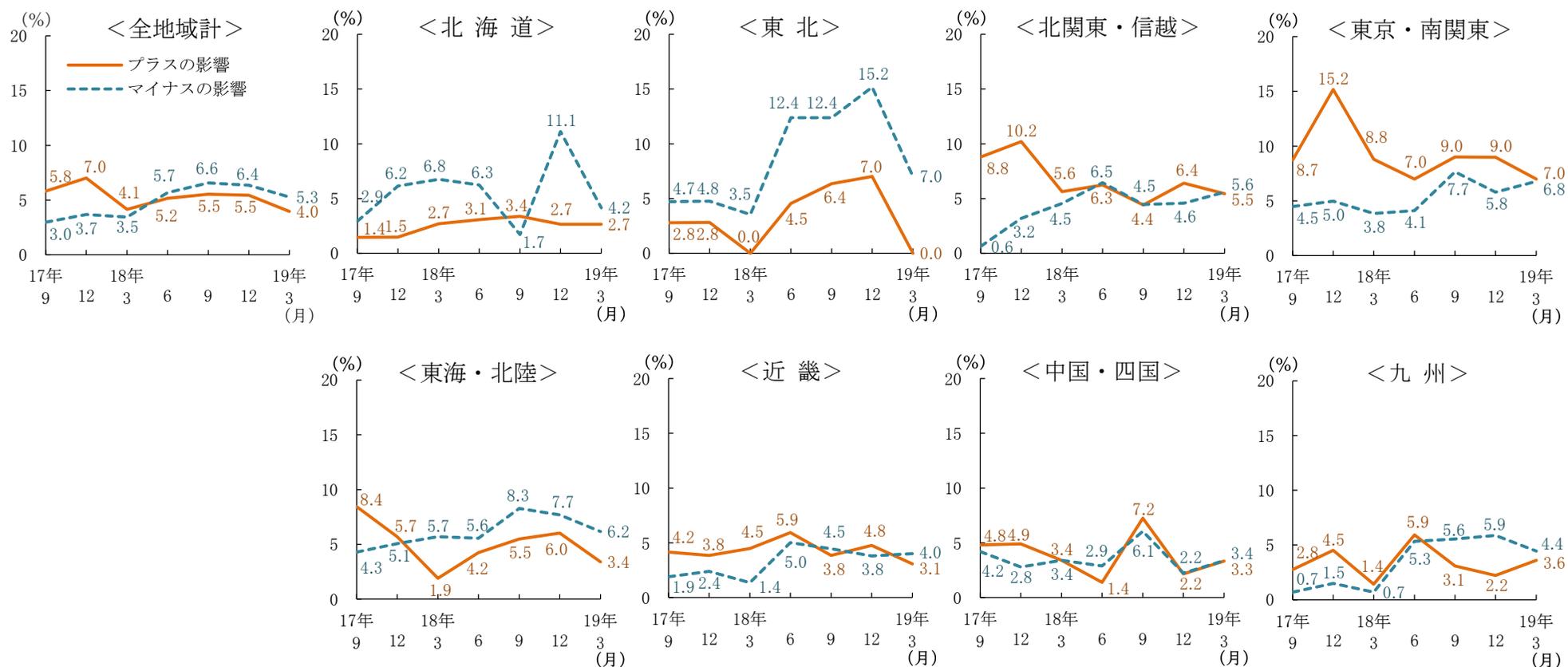
図ー6 東京オリンピック・パラリンピックの影響（全業種計、業種別）



- (注) 1 2017年9月より調査開始。各調査時点（実施月の月上旬）における影響を尋ねたもの（以下同じ）。
- 2 回答割合は四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある（以下図ー7、表は同じ）。
- 3 数値は、「大いにある」「少しある」と回答した企業割合の合計値。

- 2019年3月調査において、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックによる業況へのプラスの影響があると回答した企業割合は、東京・南関東で7.0%と全地域のなかで最も高くなった。次いで、北関東・信越(5.5%)、九州(3.6%)の順となっている。
- マイナスの影響があると回答した企業割合は、東北で7.0%と全地域のなかで最も高くなった。次いで、東京・南関東(6.8%)、東海・北陸(6.2%)の順となっている。

図-7 東京オリンピック・パラリンピックの影響（全地域計、地域別）



(注) 図-6に同じ。

- 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックによる業況へのプラスの具体的な影響を尋ねたところ、「仕事量の増加」が80.0%、「販売価格の上昇」が14.0%となった。
- マイナスの具体的な影響は、「人手不足、人件費の上昇」が54.5%、「仕入価格の上昇」が51.5%、「仕事量の減少」が7.6%となった。

表 東京オリンピック・パラリンピックの影響
(業種別、地域別)

(1) プラスの影響 (単位：%)

	北海道	東北	北関東・信越	東京・南関東	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州
製造業	3.9		11.8	3.9	2.0	3.9	2.0	2.0
卸売業			2.0	3.9		2.0		
小売業				2.0	3.9	3.9	2.0	2.0
飲食店			2.0	3.9				
サービス業			2.0	5.9	2.0		2.0	2.0
建設業				3.9	3.9	2.0	2.0	2.0
運輸業				9.8		2.0	2.0	2.0

(n=51)

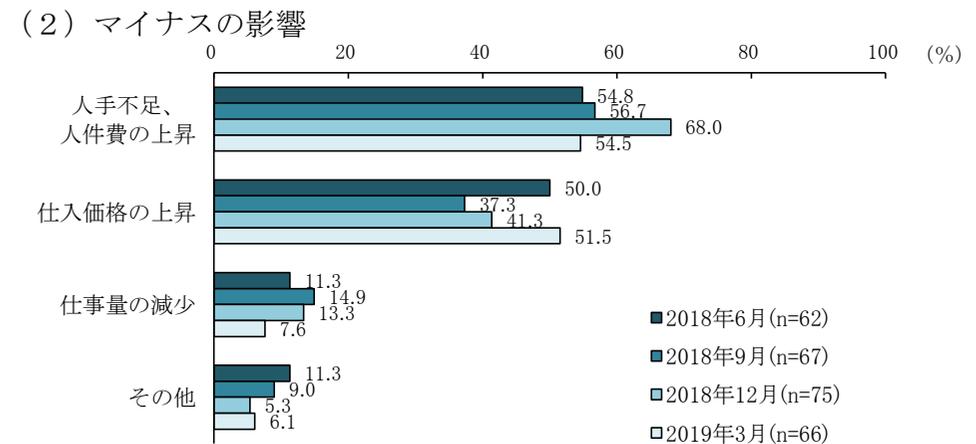
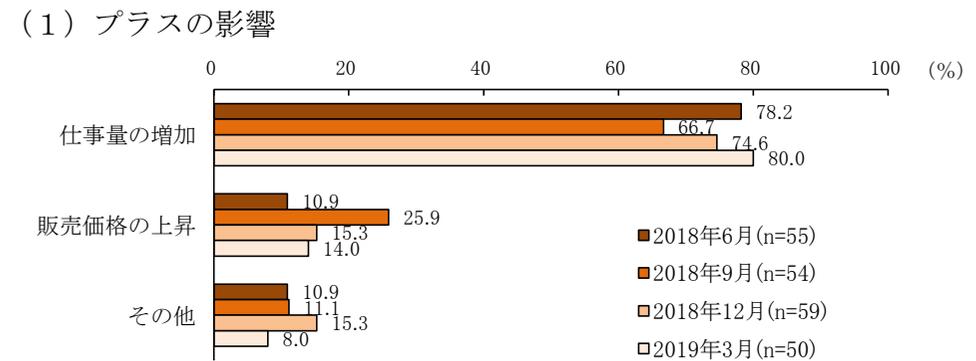
(2) マイナスの影響 (単位：%)

	北海道	東北	北関東・信越	東京・南関東	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州
製造業		1.5	1.5			1.5	1.5	
卸売業		6.0	1.5		1.5		3.0	3.0
小売業		1.5		3.0	3.0		1.5	
飲食店	1.5		1.5	3.0		1.5		
サービス業			1.5	4.5	6.0	4.5		3.0
建設業	3.0	1.5	7.5	10.4	6.0	6.0	1.5	3.0
運輸業		1.5		3.0				

(n=67)

- (注) 1 2019年3月調査において「大いにある」「少しある」と回答した企業数に占める割合。
2 網掛けは、4%以上を占める項目。

図-8 影響の具体的な内容 (全業種計、複数回答)



- (注) 1 2018年6月より調査開始。「大いにある」「少しある」と回答した企業に具体的な内容を尋ねたもの。
2 複数回答のため、合計は100%にならない場合がある。